

特集!

発行:青森県教育庁教育政策課学校の幸せ推進室(〒030-8540 青森市長島1-1-1)

伴走型支援事業
R6年度実施校の
取組紹介!

前号に引き続き、令和6年度学校業務改善
伴走型支援事業について特集します。
小学校4校、中学校5校、高等学校2校の計11校が
外部コンサルタントの支援を受けながら、主体的に
業務改善に取り組んできました。今回は、小・中・高
合わせて5校の取組等を紹介します!
「今年度、我が校でも実施したい!」
という学校は、ぜひお申込みください!

申込はこちら!

◆メニュー1【業務改善校内ワークショップ】
※下のQRコードから
お申し込みください。
令和8年2月まで 随時
受付中です!

※下のQRコードから
お申し込みください。
令和8年2月まで 随時
受付中です!



◆メニュー2【研修会等への講師派遣】
「働き方改革や業務改善に関する研修をや
りたい」という団体(校長会・教育研究会等)
に、講師を派遣します。

五所川原市立 金木小学校



◆取り組んだ内容は?

- ・行事反省入力フォームの活用。
- ・合同学習(体育・現地学習)の実施。
- ・宿題の出し方の見直し。
(高学年を中心に)
- ・学校支援ボランティアの充実。
(地域学校協働活動推進員の活用)
- ・学級通信のデジタル配信。
- ・長期休業の管理職に
よる日直勤務。
- ・教材等のデータ蓄積
ファイル。
- ・会議日の限定及び内
容のスリム化。

◆他校にお勧めしたい取組は?

- ・改善内容の見える化。↓



◎オレンジのお花
→すぐにでも
実行したい

◎赤のお花
→今後の検討事項
としたい

◆他校に気をつけてほしいポイントは?

- ・多面的視点からの改善。

◆今後取り組みたいことは?

- ・P T A 活動の見直し。
(部会を減らしボランティア活動を充実)
- ・日課表の一部見直し。
(水曜日ロング昼休みを通常の昼休みに)
- ・地域人材・施設バンクの整備。
- ・通知表所見欄の見直し。

◆校長先生からの感想

・事業に取り組んだことによって、職員の業務改善に対する見方や考え方が広くなるとともに、「働きやすい学校」「働きがいのある学校」を目指して、一歩ずつ前進できたように感じます。子供や保護者の思いも大事にし、職員が同じ方向を向き、「まずはできることからやってみよう!」が大切だと思いました。



三沢市立 岡三沢小学校

◆取り組んだ内容は?

- ・放課後に余白を生み出す新日課。
- ・余剰時間の削減。
- ・朝のあいさつ街頭指導を地域へ。
- ・休日の環境奉仕作業を保護者のみで。
- ・卒業アルバム選定を卒業実行委員会へ。
- ・重複事務の整理。
- ・学級経営案と自己目標シートの統合。
- ・掃除反省用紙の印刷廃止(掲示)。
- ・通知表の道德及び総合的な学習等の所見を総合所見欄として1箇所集約。
- ・職員会議資料の印刷廃止(共有画面)。
- ・集金前納入制度の構築。
- ・テトルでの欠席把握。
- ・ゲーグルチャットによる職員情報伝達。
(登校児童の把握・リアルタイムでの情報伝達)
- ・当日の日程の大型スクリーン投影。



R 6 年度【児童下校時刻15:20】

岡三沢小学校 日課表			
月・火・木・金	水	児童の活動	
～ 8:00	～ 8:00	児童登校	
8:00～ 8:05	8:00～ 8:05	朝読書	
8:05～ 8:10	8:05～ 8:10	朝の会	
8:10～ 8:25		朝学習	
8:25～ 9:10	8:10～ 8:55	1校時	
9:15～ 10:00	9:00～ 9:45	2校時	
10:00～ 10:15	9:45～ 10:00	中休み	
10:20～ 11:05	10:05～ 10:50	3校時	
11:10～ 11:55	10:55～ 11:40	4校時	
11:55～ 12:40	11:40～ 12:25	給食	
12:40～ 13:00	12:25～ 12:30	美化活動	
13:00～ 13:30	12:30～ 13:00	昼休み	
13:35～ 14:20	13:05～ 13:50	5校時	
14:20～ 14:30	13:50～ 14:00	帰りの会	
14:35～ 15:20	14:05～ 14:50	6校時	
5校時 14:30	5校時 14:00	児童退下	
6校時 15:20	6校時 14:50		
水曜	16:10～ 16:25	職員終会	
金曜	16:00～ 16:25		
16:30～	16:30～	退勤	

R 7 年度【児童下校時刻15:00】

岡三沢小学校 日課表(朝清掃 ver.)			
月～金	児童の活動		
～ 8:00	児童登校		
8:00～ 8:10	朝の会		
8:10～ 8:25	美化活動		
(火:集金 金:フツ素)	(月・水・木)		
8:30～ 9:15	1校時		
9:20～ 10:05	2校時		
10:05～ 10:20	中休み		
10:25～ 11:10	3校時		
11:15～ 12:00	4校時		
12:00～ 12:40	給食		
12:40～ 13:10	昼休み		
13:10～ 13:15	読書		
13:15～ 14:00	5校時		
14:00～ 14:10	帰りの会		
14:15～ 15:00	6校時		
4校時 12:55	児童退下		
5校時 14:10			
6校時 15:00			
16:10～ 16:30	職員終会(月・木)		
16:30～	退勤		

◆他校にお勧めしたい取組は?

- ・余白を生み出す新日課と集金前金納入制度。

◆他校に気をつけてほしいポイントは?

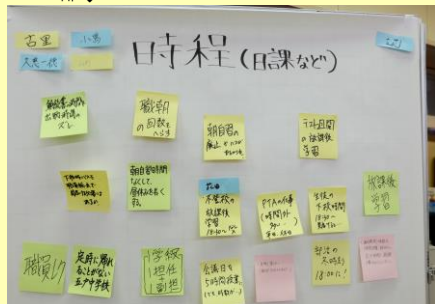
- ・働き方改革の目的が削減大会にならないように。

◆今後取り組みたいことは?

- ・新日課による教職員の授業力の向上。
- ・20分の余白時間による放課後の教材研究の深化と資質能力の向上。
- ・集金一括納入保護者9割越え。
- ・月払い保護者ゼロによる事務職員の負担軽減。

五戸町立 五戸中学校

職員全員で
出した
業務改善の
アイデア
の一部↓



◆取り組んだ内容は？

- ・R6.12.11にキックオフ。(11月に事業参加。)⇒アイデアを生かして教育課程会議で検討。
- ・職員朝会を週5回から週3回に変更。
- ・総務会(主任会)を月4回⇒2回に縮減。
- ・支援員の情報交換日を支援員全員が会議しやすい曜日に変更。
- ・個別最適な学びに向け、AIドリル活用の検討開始。
- ・要録の記入の内容の簡略化。

◆他校にお薦めしたい取組は？

- ・AARサイクル(見通し・実行・振り返り)を意識してある程度目処がついたものから実践。

◆他校に気をつけてほしいポイントは？

- ・ねらいや効果を意識することを忘れないこと。

◆今後取り組みたいことは？

- ・考査日は部活動なし。考査日を週末にしない。(生徒の怪我防止。採点業務を勤務時間でできる。)
- ・1学期中間考査を廃止。(修学旅行・体育祭の多忙感の解消。中体連に向けた部活動実施日の確保。)
- ・夏季休業中に全学年三者面談実施。通信票所見を年1回とし、1・2年は2学期末、3年は学年末とする。(保護者との交流を早期に。3年進路業務の時期と1・2年指導要録作成の時期の多忙感解消。)
- ・進級認定会議、卒業認定会議の廃止。(本人・保護者の意思の確認程度の簡単な資料にする。)



むつ市立 関根中学校

業務改善の数的効果 (関根中学校より提供)

〈時間外在校等時間〉

・平均値

R4:52.5H → R5:42.2H → R6:30.6H

・45H/月を超過した月数

R4:9ヶ月 → R5:5ヶ月 → R6:0ヶ月

・80H/月を超過した人数

R4:16人 → R5:10人 → R6:3人

◆取り組んだ内容は？

- ・会議と会議時間を減らす。
- ・会議のペーパーレス化。
- ・ICTの活用。
- ・教育環境の整備。
- ・退勤目標時刻の設定。
- ・年休取得推進日の設定。(長期休業中の学校閉庁日の前後に設定。年3日。)
- ・県伴走型支援事業を3回実施。

◎ 8/28 タイムデザインと業務改善ワークショップ
「あなたのWant toは？」

◎ 11/27 小・中合同研修(ワークショップ)
「授業をどう変える?~単元内自由進度学習~」

◎ 3/12 生徒&教員ワークショップ
「どんな活動をした?」



◆他校にお薦めしたい取組は？

- ・年休取得推進日の設定。
- ・職員ワークショップ「どんな生徒に育てたいか?」。

◆他校に気をつけてほしいポイントは？

- ・「これぐらいのことをやっても働き方は変わらない」ということの積み重ねでしか変わらない。(小さなことの積み重ねが大きな効果に!)



↓8/28実施のワークショップ後に校長先生(令和6年度)が作成したまとめ

8/28ワークショップまとめ

体験プロジェクト（仮称）		生徒活動の活性化	
炊事遠足	BBQ	行事の見直し・削減・簡素	先生対生徒の体育祭
かまくらを作る	すし打大会	校則を生徒が決める	校則の見直し
球技大会	月1回野外活動	生徒会の雑務を減らして	生徒の活動時間の確保
先生対生徒のオニごっこ対決	全校（縦割グループ）での給食	生徒の時間を確保するために1015時間以上授業をしない	
全校ゲーム大会（eスポーツ大会）			
雪合戦	全校遠足	私としては、生徒も教職員もやりがいを感じられる学校にしていきたい。	
このことは令和7年度教育課程編成に向けた話し合いの中で検討したい。また、生徒と話し合う場面も考えたい。			
令和6年度は「決めたことを最後までやりきる力」を育てるが究極の目的でした。令和7年度は何をねらいとするのか？それによって取り組むべきことが見えてくるはず。			
学びプロジェクト（仮称）		業務改善・効率化など	
マナー（言葉遣い）	全校ディベート	一人必ず5人とコミュニケーション	みんなの〇WANTを明確にする
全校まぜての席中タイム	関中トレーニング	16：20全員退下	教材研究の時間を勤務時間内に
マナー講座（箸の持ち方等）	一日英会話DAY		

青森県立 田名部高等学校

◆取り組んだ内容は？

- ・事務手続の簡素化と廃止。
- ・ハード面の整備(各職員室にコピー機)。
- ・教育課程の検討(45分7時間or6時間授業の日を増やす)。
- ・会議時間の短縮・回数減(読み上げなし等)。
- ・部活動の負担軽減(ガイドラインを遵守)。
- ・講習実施方法の検討。
- ・R7新学期テストの廃止。
- ・校内テストの精選。



◆他校にお薦めしたい取組は？

「①全体で意見を出す」⇒「②ワーキンググループで優先事項を決め検討・提案」⇒「③関係分掌が判断し実行する」の業務改善プロセス。

◆今後取り組みたいことは？

- ・教育課程の検討を継続。
- ・校内テストの精選を継続。
- ・講習実施方法の検討を継続。



◆校長先生からの感想(令和6年度)

- ・これまでも管理職主導で様々な業務改善を進めてきたが、先生方にとっては自分ごとではなかった。それがワークショップ後は、「自分たちで変えるんだ」「変えることができるんだ」という雰囲気になった。
- ・無駄な事務作業が減り、そこで創出された時間が教材研究など生徒のための時間に使われている。講習のことなどには触れてはいけない雰囲気があったが、目標のためなら「言ってもいいんだ」という雰囲気になり、本音で話すことができるようになった。
- ・一番のお勧めはワークショップをやることである。職員会議後の短い時間でもいいので、先生方の互いの思いを伝えあう場づくりが大事である。これが良いチームづくりに必要なプロセスである。日常でも、業務改善に関する話題が先生方から出たり、互いの仕事に対して感謝を伝えあう場面が増えたりしている。本当にやってよかったと感じている。

↓テーマ毎グループによる作戦会議で活用したワークシート

